

フェリス女学院

中学校・高等学校

フェリスでは1921(大正10)年11月、身体の発育や健康のことを考え、和服ではなく「女学生標準服」を決定し、スカート式セーラー服の着用をすすめました。しかしその当時は、一部の生徒がとりいれただけでした。その後、1923(大正12)年関東大震災の経験から洋服着用が広まり、1924(大正13)年に「制服」を正式決定、翌年の春頃には生徒全員が着用するようになりました。

冬服は紺のセーラーカラーにひだスカート、ネクタイはえんじ色。夏服は白地にブルーグレーのギンガム地のセーラーカラー、黒のネクタイ。このデザインは90年間、ほぼ変わることなく、現在にいたっています。